

## 前年度の改善方策について実行した改善結果

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。  
令和7年度に実施してきました改善方策について実行した改善結果をご報告させていただきます。

### <令和7年度の経堂小学校の経営>

#### 1. 課題を解決する力の育成

「探究的な学び」を充実させ、自ら課題を見付け、解決のための見通しをもち、必要な情報を収集したり整理分析したりして自分の考えをまとめ、表現できる子どもを育てる。

#### 2. 自他を大切にすると共に、自己肯定感の育成

子どもを認め、思いを聞く指導を基盤に、「学び合う活動」「学びを振り返る活動」を充実させ、自分や友達のよさを見付け、互いが伸びていく子どもを育てる。

#### 3. 「やわらかい心」の育成

自己の目標（ゴールイメージ）に向けて、諦めずに粘り強く取り組むことや互いに学び合い成長し合うことを通して、非認知能力を高め、健やかな心や体を自ら耕す子どもを育てる。

### <数値目標の達成結果>

#### 1. 課題を解決する力の育成

自ら課題を見付け、解決のための見通しをもち、必要な情報を収集したり整理分析したりして自分の考えをまとめ、表現することができたといえる児童の割合を80%以上にする。

⇒児童アンケートの結果から、「先生は、課題（めあて）について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で扱っている」について、肯定的な回答をした児童は90.4%、「授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある」について92.7%、「私は、授業中に、必要な情報を集めたり整理したりして、自分の考えをまとめている」については81.9%であった。全国学力・学習状況調査の児童質問紙調査では、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童は91.5%と、昨年度より約5ポイント増加した。一方、児童アンケートにおいて、「授業中に、自分の考えを書いたり話したりして伝えている」児童は67.6%と、昨年度よりも約9ポイント減少した。

#### 2. 自己肯定感・協働する力の育成

「学び合う活動」「学びを振り返る活動」を通して、自分や友達のよさを見付け、成長できたといえる児童の割合を80%以上にする。

⇒全国学力・学習状況調査の児童質問紙調査において、「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、考え方に気付いたりすることができている」について肯定的な回答をした児童は89.8%だった。また、児童アンケートの結果から、「友達との関わり合いや学び合いを通して、成長している」と回答した児童は、82.3%であった。

#### 3. 非認知能力・創造する力の育成

自己の目標（ゴールイメージ）に向けて、諦めずに粘り強く取り組んだり、互いに学び合って成長したりすることができた児童の割合を80%以上にする。

⇒児童アンケートの結果から、「目標をもち、その実現に向けて努力している」児童は80.0%、「自分のやりたいことに向かって、諦めずに取り組んでいる」児童は75.3%であった。